

共用品推進機構だより 2017年01月20日(40)

目次

(180) 共用品推進機構関連記事

▽「ブログを更新しました！」

(181) 賛助会員ニュース

▽「業界初！液体紙容器のキャップと中栓を同時に開栓する注出口を開発
高齢者など多くの人に優しいユニバーサルデザインで中栓の開栓が容易に
／大日本印刷」

(182) 製品関連記事

▽「体組成計、データをスマホに転送／オムロンヘルスケア」

(183) その他、各種関連記事

▽「米国がアクセシビリティ技術基準を改定する／山田 肇」

▽「便座のボタン統一で『おもてなし』
トイレ機器団体、新年度から順次採用／日本レストルーム工業会」

(184) 新刊紹介

▽『障がい者の就活ガイド』

▽『自閉症スペクトラム児者のキャリア教育に関する研究
TTAPを活用したライフプラン構築支援モデルの開発』

(180) 共用品推進機構関連記事

▼「ブログを更新しました！」

・ベトナム・ホーチミン/Ho Chi Minh City 町の風景

・ベトナム・ホーチミン/Ho Chi Minh City 夕食の時間
共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>
共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

（181）賛助会員ニュース

- ▼「業界初！液体紙容器のキャップと中栓を同時に開栓する注出口を開発
高齢者など多くの人に優しいユニバーサルデザインで中栓の開栓が容易に
／大日本印刷」

大日本印刷株式会社（以下：DNP）は、ジュースや酒などの液体紙容器のキャップと中栓を一度の動作で同時に開けることができる「DNP キャップ・中栓同時開栓注出口（液体紙容器用）」を開発しました。

【「DNP キャップ・中栓同時開栓注出口（液体紙容器用）」の特長】

従来の液体紙容器の注出口は、キャップの内側にプルリング付の中栓があり、開ける際にプルリングに指が入りにくく、引き抜く際に強い力が必要などの理由で、高齢者や女性などにとっては開けにくいという課題がありました。このような課題を解決するため DNP は、できるだけ多くの人を使いやすいユニバーサルデザインに配慮し、プルリングが無い全く新しい注出口を開発しました。

●開栓が容易な注出口

キャップを回して開けるだけで、同時に中栓も開けることができます。「カチッ」という音で中栓が開いたことが確認できます。

●プルリングがない注出口

中栓をプルリングで開ける必要がないため、従来の「指のかかりにくさ」「開栓に力が必要」「開栓時の液はね」などの課題が解消されます。また注出口に手が触れないため、衛生的にも優れています。

●開栓時にゴミが出ない注出口

開栓時に中栓がキャップと一体になるため、プルリングのゴミが出ません。

http://www.dnp.co.jp/news/10130803_2482.html

(181) 製品関連記事

▼「体組成計、データをスマホに転送／オムロンヘルスケア」

オムロンヘルスケアは測定データをスマートフォン(スマホ)に転送できる体重体組成計「HBF-255T」を20日に発売する。省電力無線通信規格「ブルートゥース」に対応し、iPhoneやアンドロイド端末の専用アプリに測定データを転送。データを簡単に管理・確認できる。

他社の健康管理アプリともデータ連携でき、減量などに生かせる。体重計に乗ると自動的に電源が入り、過去の測定値から誰かを推定する。色は白、黒、赤の3色。

(日経産業新聞 1月19日12面より抜粋)

(182) その他、各種関連記事

▼「米国がアクセシビリティ技術基準を改定する／山田 肇」

米国連邦政府のアクセスボードが、アクセシビリティ技術基準について説明会を開催した。アクセスボードは、連邦政府の障害者政策の中枢である。

米国では90年代頃から多くの分野でアクセシビリティ技術基準が作成され、運用されてきた。その後の技術進歩や社会環境の変化を反映して、今回、三種類のアクセシビリティ技術基準が制改定されることになった。

昨年12月に改定されたのがバスやバン（この場合には小型バス）についての技術基準。今回は、車高変更のほか、路線バスは次のバス停の名称を表示するだけでなく音声でも案内する、といった基準が追加された。

1月9日に公表されたのは、医療検査機器に関する基準。検査台と椅子、体重計、放射線装置、マンモグラフィ装置に関する基準がはじめて制定される。

間もなく公開されるのが、情報通信機器・サービスに関する技術基準。米国ではリハビリテーション法508条に基づいて、連邦政府自体と連邦政府資金が提供されている組織が情報通信機器・サービスを調達する際には、この技術基準を満たすことが義務付けられている。改定基準は特定の技術に依存

しないよう技術中立性を守って作られているので、最新技術にも対応できる。

アクセシビリティ技術基準は障害者の社会参加のための基準であるが、乗り降りの際にバスの車高が下がったり、テレビ放送に字幕が付けば、高齢者にも役立つ。高齢化が進展するわが国で求められる政策である。

<http://agora-web.jp/archives/2023723.html>

▼「便座のボタン統一で『おもてなし』

トイレ機器団体、新年度から順次採用／日本レストルーム工業会」

トイレ機器メーカーの業界団体「日本レストルーム工業会」は17日、温水洗浄便座の「おしり洗浄」など8種類の操作ボタンの絵記号を統一すると発表した。今は各社ともバラバラだが、外国人観光客にアンケートをとったところ、「分かりにくい」との不満の声が寄せられたため、改めるという。

ほかに統一する絵記号は、便ふた開閉と便座開閉、便器洗浄(大)、便器洗浄(小)、ビデ洗浄、乾燥、止のボタン。直感的に分かるシンプルさを重視し、各社のデザイナーが考えた。国内主要メーカー9社が2017年度から新製品に順次採用し、国際標準化も目指す。

(朝日新聞 1月18日35面より抜粋)

(183) 新刊紹介

▼『障がい者の就活ガイド』

どうやって求人を探すの？障がいのことはどう伝えればいいのか？応募や面接のしかたは？相談できる機関や制度はあるの？準備から面接、内定、就労まで、障がい者の就活の流れとノウハウをわかりやすく解説する。

著：紺野大輝（こんの・たいき）

発行：左右社

本体価格：1800円（税別）

ISBN：978-4-86528-166-8

▼『自閉症スペクトラム児者のキャリア教育に関する研究

TTAPを活用したライフプラン構築支援モデルの開発』

自閉症スペクトラム児者が、充実した職業生活を送ることを目指したライフプランを構築できるよう、TTAP を活用した就労支援、自閉症生徒への就労移行支援について研究し、支援モデル確立へ向けたモデル試案を提起する。

著：清水浩（しみず・ひろし）

発行：風間書房

本体価格：8000 円（税別）

ISBN：978-4-7599-2151-9

（編集後記）

新年早々、1月8日から11日まで、製品安全と共用品に関する調査のため、ベトナムのホーチミンとその周辺に出張しました。

ホーチミンは寒い時期がなく、この時期でも30度を超える暑さ。お正月（1月28日）が目前で活気があり、みな忙しそうに働いていました。

ベトナムの写真はブログにアップしています。どうぞご覧ください。

（金丸淳子）

<http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>